



島根県の経済情勢

令和5年10月25日

財務省中国財務局
松江財務事務所

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 幸村
電話 (0852) 21-5231 (内線 4630)



ざいちゅう

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回 (5年7月判断)	今回 (5年10月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	→

(注) 5年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は持ち直している。生産活動は弱含んでいる。雇用情勢は持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回 (5年7月判断)	今回 (5年10月判断)	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	→
生産活動	弱含んでいる	弱含んでいる	→
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	→
設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は減益見込み	→
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「上昇」超幅が縮小している	→
住宅建設	前年を上回る	前年を下回る	↘
公共事業	前年度を下回る	前年度を下回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店・スーパー販売は、冷凍食品や総菜などの売行きが好調なことから、前年を上回っている。

コンビニエンスストア販売は、猛暑によって飲料やアイスなどの売行きが好調なことから、前年を上回っている。

家電大型専門店販売は、気温が上昇した7月以降、エアコンなどの売行きが好調であったものの、物価上昇などの影響により全般的に販売台数が減少していることから、前年を下回っている。

ドラッグストア販売は、マスクを外して行動する人が増加する中、風邪やインフルエンザの予防・治療を目的に医薬品などが売れていることから、前年を上回っている。

ホームセンター販売は、猛暑の影響で屋外作業が難しくなり、園芸用品や農業資材の売行きが低調であったことなどから、前年を下回っている。

乗用車販売（新車登録・届出台数）は、納車遅れが順次緩和に向かっており、前年を上回っている。

主要観光施設及び主要温泉地の入込客数をみると、新型コロナの5類移行後初の夏休みシーズンを迎えたことに加え、全国旅行支援の延長も後押しして、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 外食需要の回復により、食料品の売上が落ち込むと見込んでいたが、中食がスタンダードになりつつあることで、売行きは引き続き好調である。(百貨店・スーパー)
- 値上げが続いていることもあり売上高は前年を上回ったが、消費者は生活防衛に腐心しており、価格比較されやすい生活必需品について、ディスカウントストア等に顧客が流出する傾向が加速しているように感じる。(百貨店・スーパー)
- 新型コロナの5類移行により夏祭りや花火大会などのイベントが復活したことを受けて、来店客数が伸長した。また、猛暑の影響で、飲料やアイスなどがよく売れている。(コンビニエンスストア)
- 今夏の猛暑により、7月は暑さ対策商品の売行きが好調であった反面、屋外作業向け商品の販売が厳しかった。また、お盆期間に台風が直撃して客足が遠のくなど、天候によって大きく左右された。(ホームセンター)
- 新型コロナの5類移行後、全国旅行支援の延長も追い風となって、稼働率が前年及びコロナ前の水準を上回っている。夏休み期間の帰省客を取り込むことができたことに加え、団体旅行の予約及び利用ともに好調である。(宿泊)
- 県外からの来店客が増えて、利用客数がかかなり回復するなど好調である。特に週末は、スポーツ大会後の打ち上げや大学生サークルの利用が活発であり、店舗によっては50人規模の大口客もあった。(飲食)

■ 生産活動 「弱含んでいる」

電子部品・デバイスは、海外のスマホ向けで在庫調整が一服したものの、製品需要が戻らないことなどから、依然として低調に推移している。

汎用・生産用・業務用機械は、新型コロナの5類移行に伴い、航空や鉄道業界などからの需要が堅調であることから、持ち直しの動きがみられる。

鉄鋼・非鉄金属は、完成車メーカーの生産が回復基調にあるものの、海外景気の減速などの影響により需要が大きく減退していることから、弱い動きとなっている。

輸送機械は、完成車メーカーの生産回復が落ち着きつつあり、持ち直しの動きに一服感がみられる。

窯業・土石は、災害復旧工事に伴うコンクリート製品の需要が堅調である中、瓦の需要減退が続いていることから、一進一退の状況にある。

木材・木製品は、高水準の生産を維持しつつも、持家着工戸数の伸び悩みにより、足踏みの状況にある。

- 中国をはじめとする海外のスマホ向けで、時間を要していた在庫調整はようやく落ち着いたが、スマホの価格上昇による買い控えや買い替えサイクルの長期化の影響により、実需の回復が見通せない。(電子部品・デバイス)
- 新型コロナの5類移行に伴う人流増加により、国内の航空や鉄道業界が回復基調であり、関連する工作機械の需要も回復しつつある。(汎用・業務用・生産用機械)
- 半導体不足の影響は緩和に向かい、完成車メーカーの生産は回復基調にあるが、中国の景気回復減速による影響に加えて、中国メーカーのEV攻勢に押されていることの煽りを受け、需要が大きく減退している。(鉄鋼・非鉄金属)
- 生産は高水準にあるが、住宅価格の上昇が続いていることから、持家着工戸数が伸び悩んで木材需要が減少しており、住宅メーカーから販売価格の値下げ要請を受けている。(木材・木製品)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

新規求人数は減少しているものの、有効求人倍率（5年6-8月）が引き続き高い水準で推移していることから、持ち直している。

- 新型コロナによる影響がなくなり、採用プロセスはオンラインから対面に戻ったが、制約がなくなったことでむしろ、様々な業種間で人材の取り合いが激化していると思う。（ホームセンター）
- 実態として生産活動は機械の設計から始まるが、設計部門の人手が足りず、せっかくの受注機会を逃してしまうこともある。（汎用・業務用・生産用機械）

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」 （全産業） 「法人企業景気予測調査」5年7-9月期

- 製造業は、化学工業などで減少するものの、生産能力の増強投資を進める情報通信機械や、老朽化した機械の維持更新を行う鉄鋼などで増加することから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業は、卸売などで増加するものの、前年度に新規出店のあった小売や店舗を移転新築した金融、保険で反動減があることなどから、全体では減少見込みとなっている。

- 自動車の電装化などにより、長期的に電子部品需要が継続すると考えていることから、生産能力の増強投資を進めており、この度、新生産棟を建てた。（情報通信機械）
- 新規出店に伴う建設工事を前年度から実施しており、今年度はその反動から投資額が減少する見込みである。（ホームセンター）

■ 企業収益 「5年度は減益見込み」 （全産業） 「法人企業景気予測調査」5年7-9月期

- 製造業は、化学工業などで増益となるものの、海外向けの受注が低調な鉄鋼や、原材料価格などが上昇している情報通信機械などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業は、サービスなどで増益となるものの、光熱費や人件費上昇分の販売価格への転嫁が進んでいない小売や、資材価格が上昇している建設などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超幅が縮小している」 （全産業） 「法人企業景気予測調査」5年7-9月期

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」超幅が縮小している。なお、先行きは、翌期に「上昇」超幅が拡大し、翌々期に「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、前年を下回っている。利用関係別にみると、貸家や持家で前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回る」

- 前払金保証請負金額（年度累計）でみると、前年度を下回っている。発注者別にみると、国や市町村が前年度を下回っている。

島根県の経済情勢

資料編

目次	ページ
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	5
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 公共事業	6

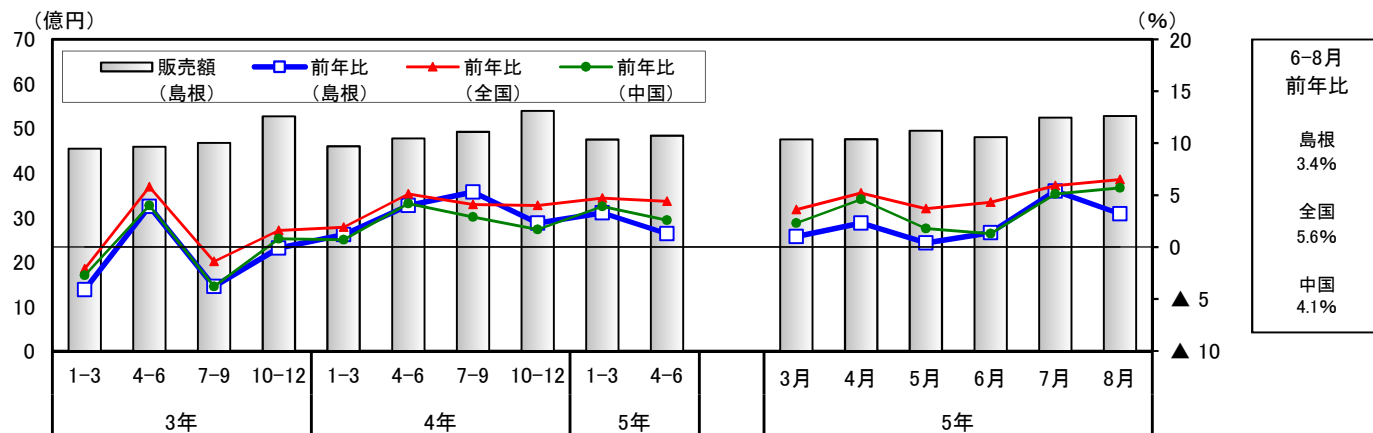
※ 本資料のグラフは各機関の公表数値を基に作成している。なお、公表されていない一部項目の数値については、当所で算出している。

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 幸村
電話 (0852)21-5231(内線 4630)

1. 個人消費 持ち直している

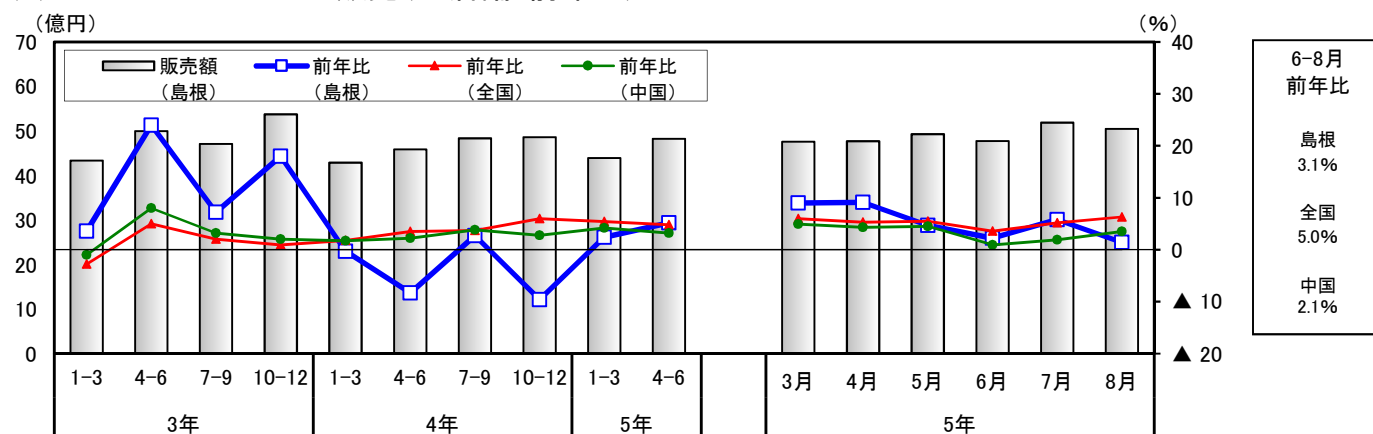
(1) 百貨店・スーパー販売(全店舗:前年比)

(注)(1)~(5)の各グラフの四半期毎の販売額は、1月あたりの平均を表示



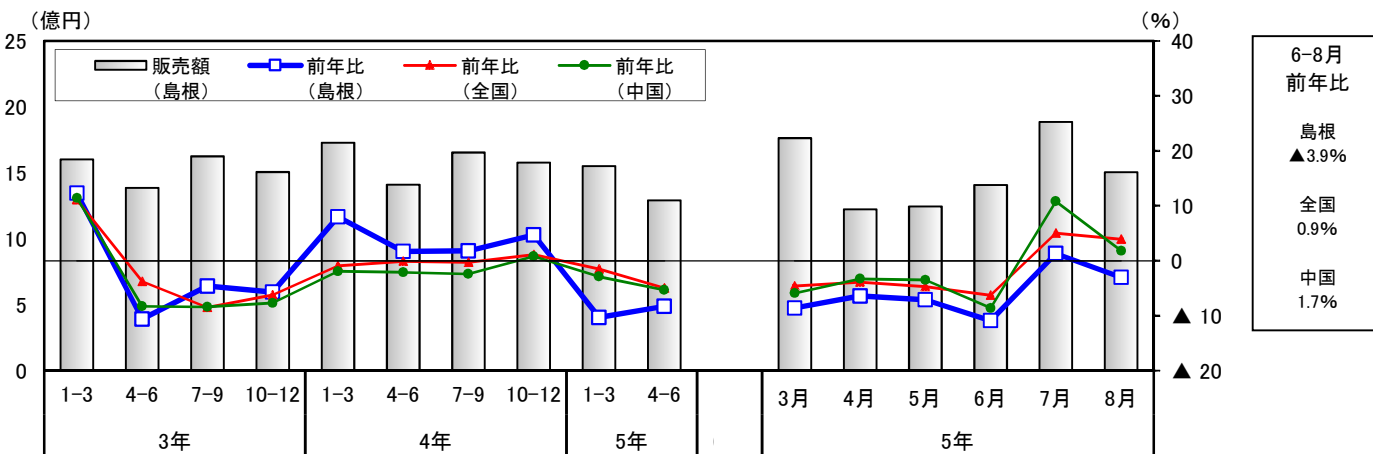
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(2) コンビニエンスストア販売(全店舗:前年比)



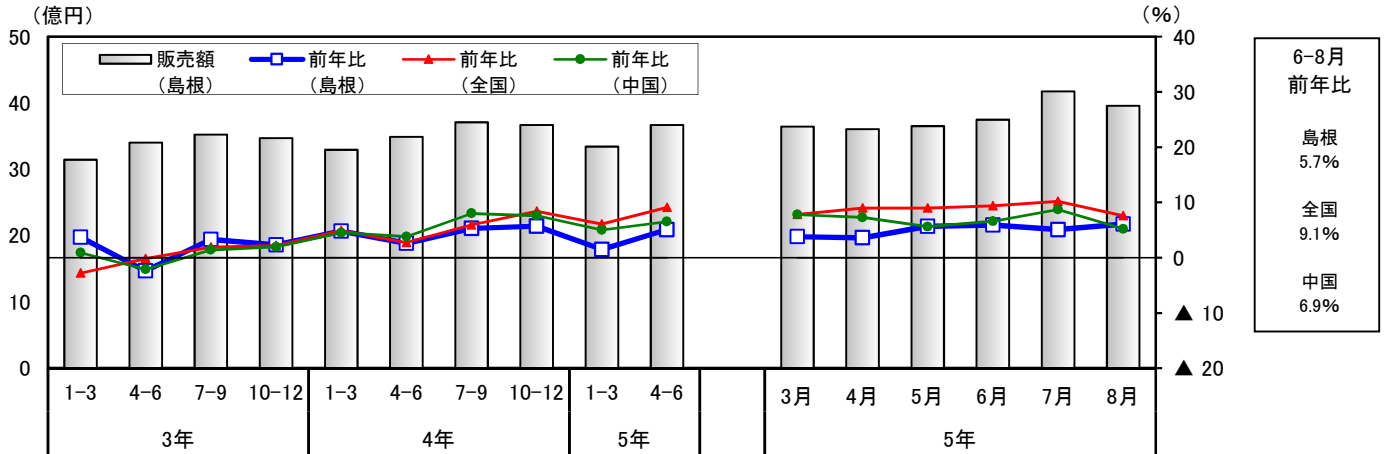
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(3) 家電大型専門店販売(全店舗:前年比)



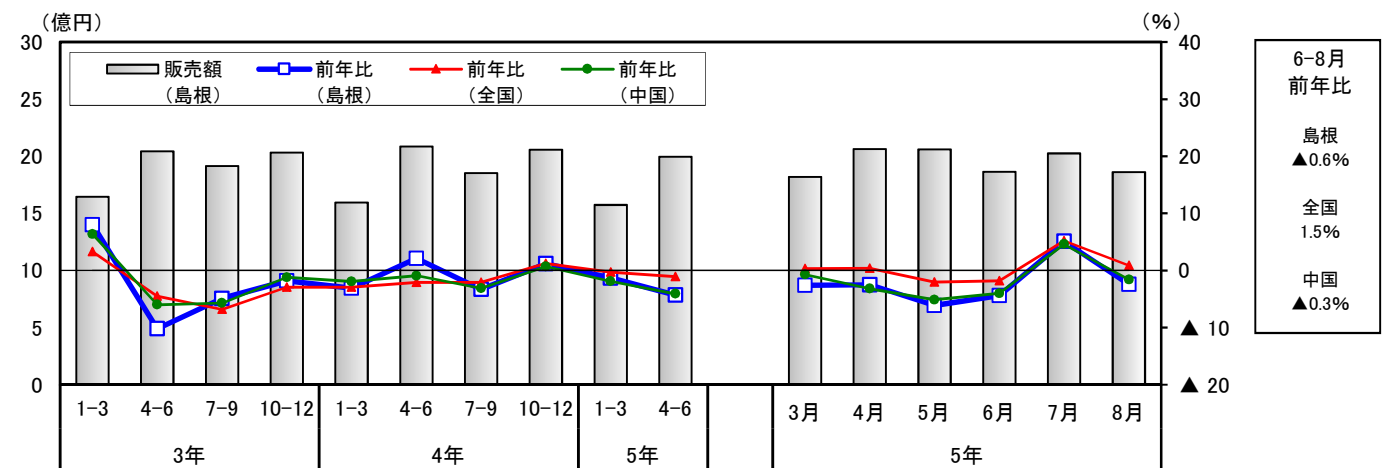
(資料出所:経済産業省、中国経済産業局)

(4) ドラッグストア販売(全店舗:前年比)



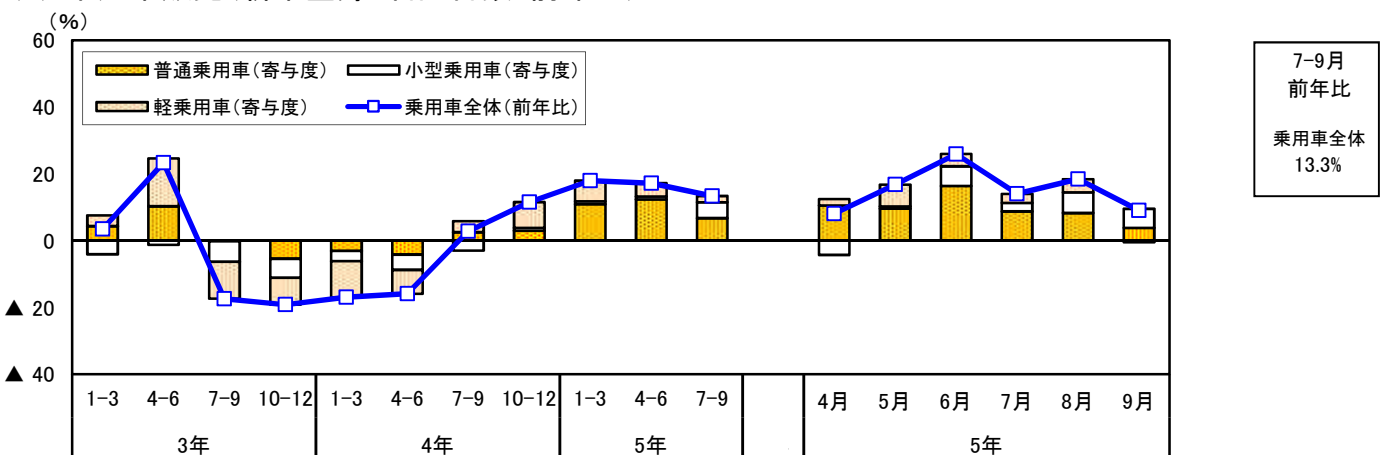
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(5) ホームセンター販売(全店舗:前年比)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数:前年比)

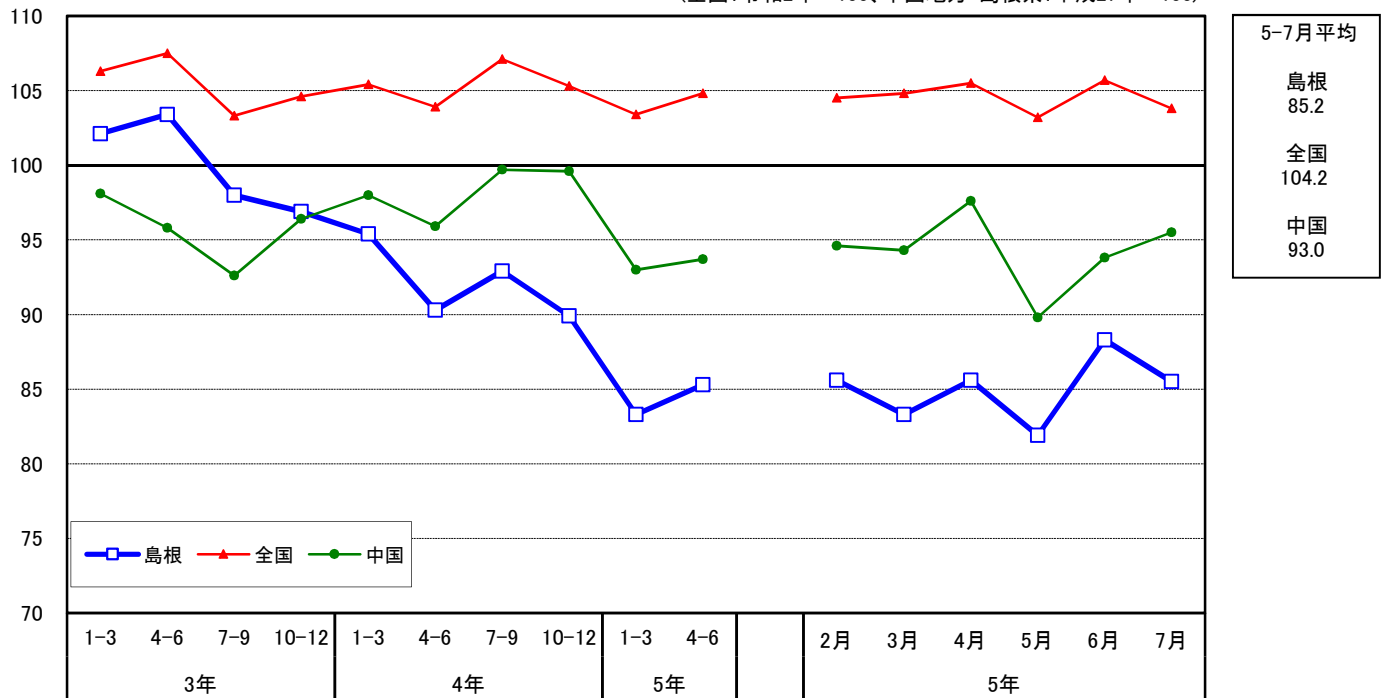


(資料出所: 中国運輸局、島根運輸支局)

2. 生産活動 弱含んでいる

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

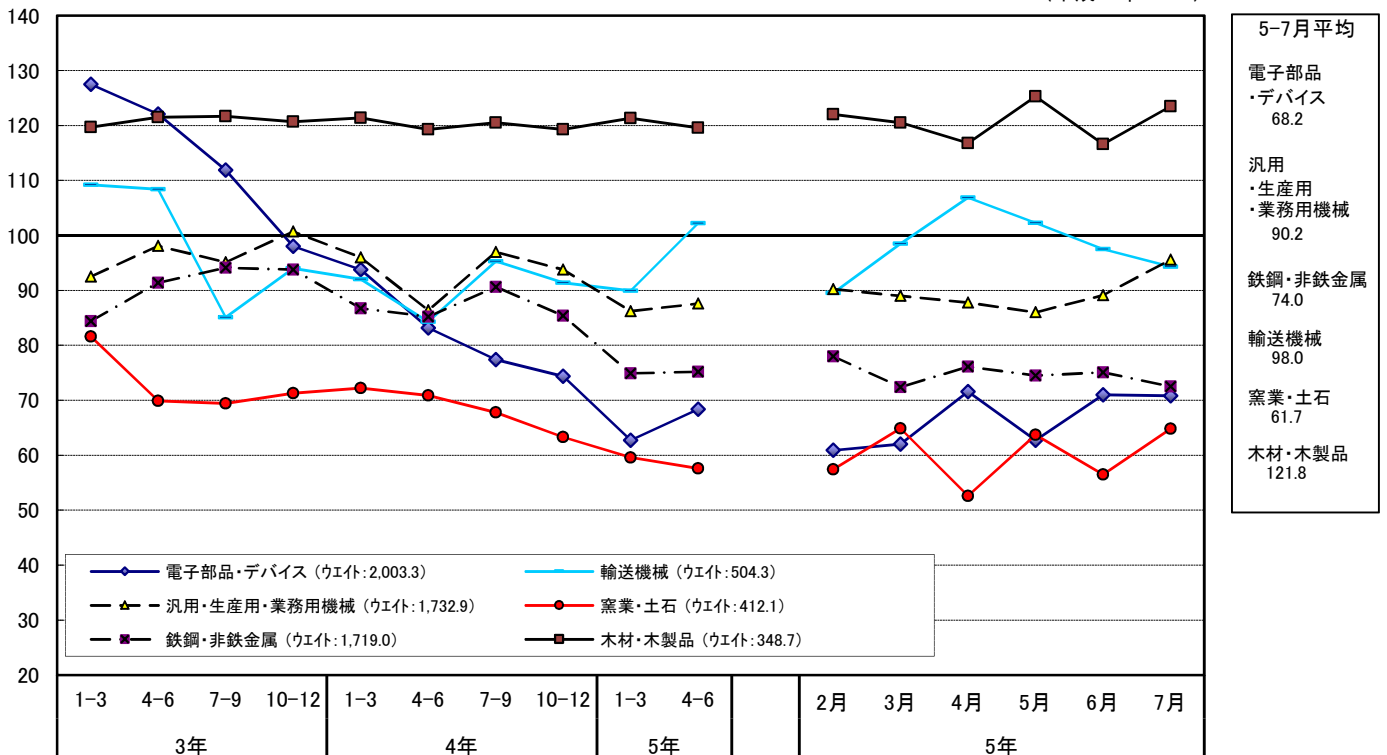
(全国:令和2年=100、中国地方・島根県:平成27年=100)



(資料出所:経済産業省、中国経済産業局、島根県統計調査課)

(2) 島根県内主要業種別生産指数(季節調整値)

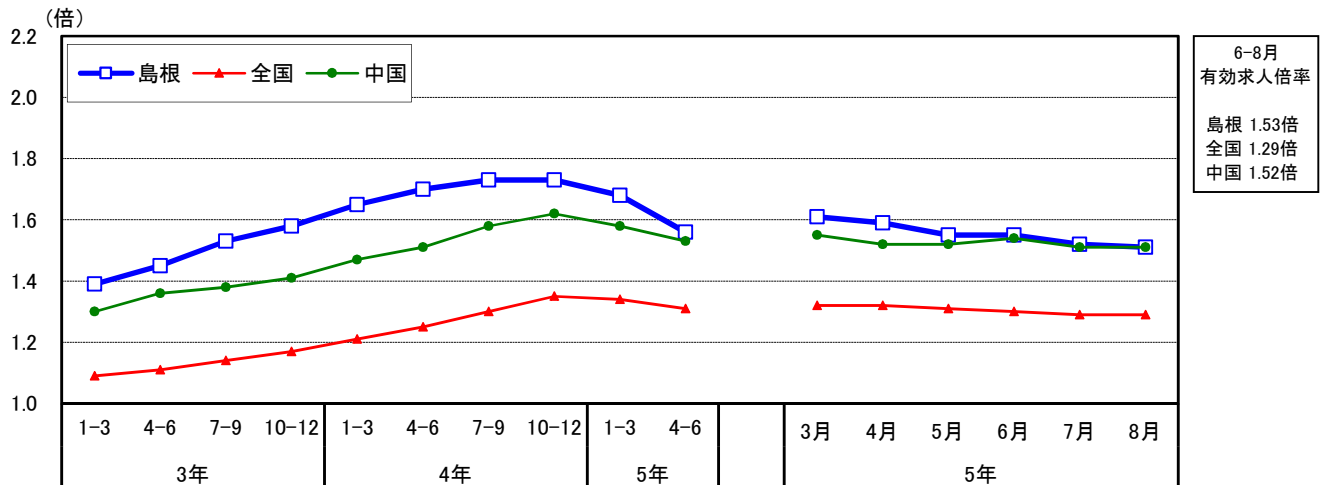
(平成27年=100)



(資料出所:島根県統計調査課)

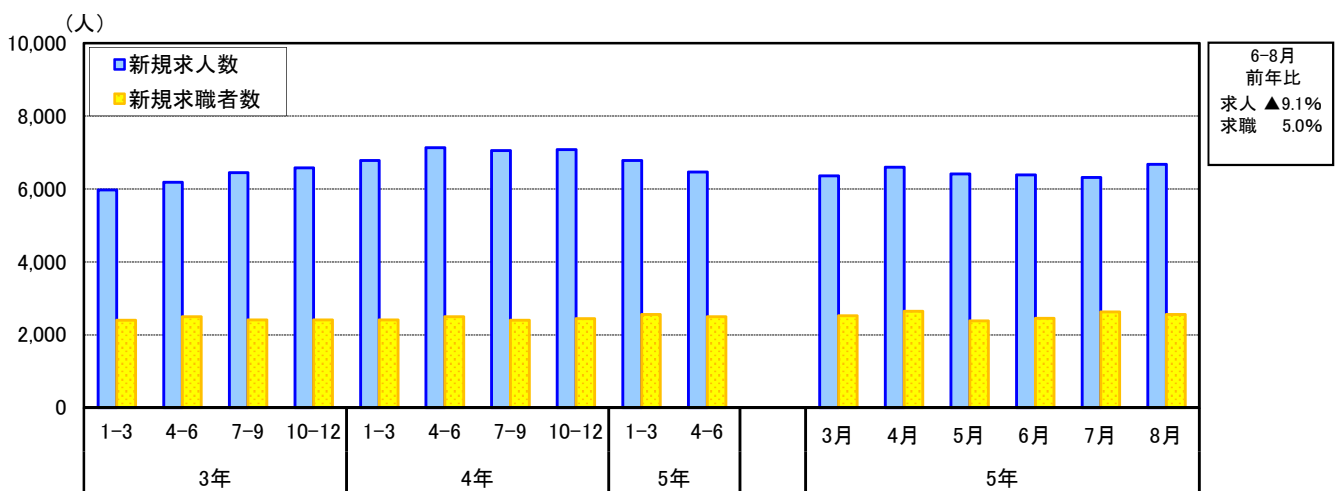
3. 雇用情勢 持ち直している

(1) 有効求人倍率(学卒除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、島根労働局)

(2) 新規求人数・新規求職者数の状況(学卒除く、季節調整値)

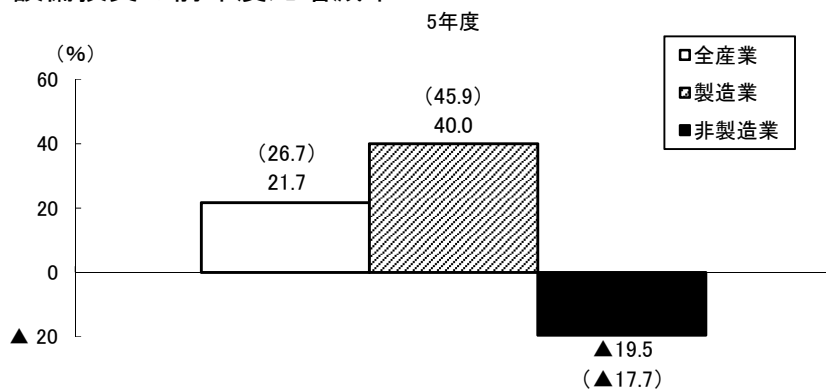


(資料出所:島根労働局)

(注)四半期毎の人数は、1月あたりの平均を表示

4. 設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

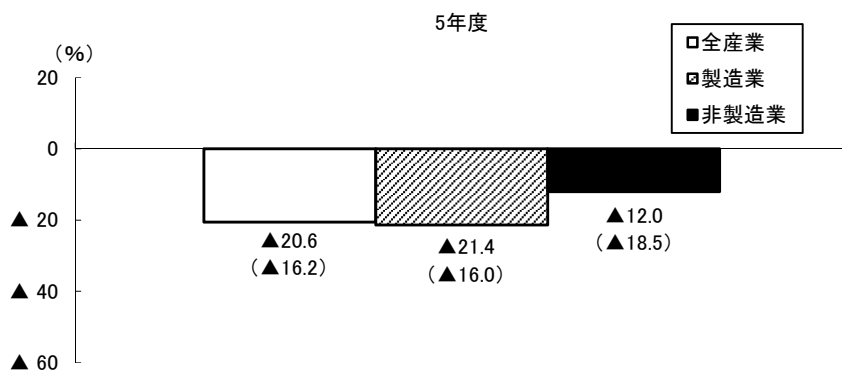
設備投資の前年度比増減率



※土地購入額除き、ソフトウェア投資額含む。()書きは前回(5年4-6月期)調査結果
(資料出所: 松江財務事務所)

5. 企業収益 5年度は減益見込み

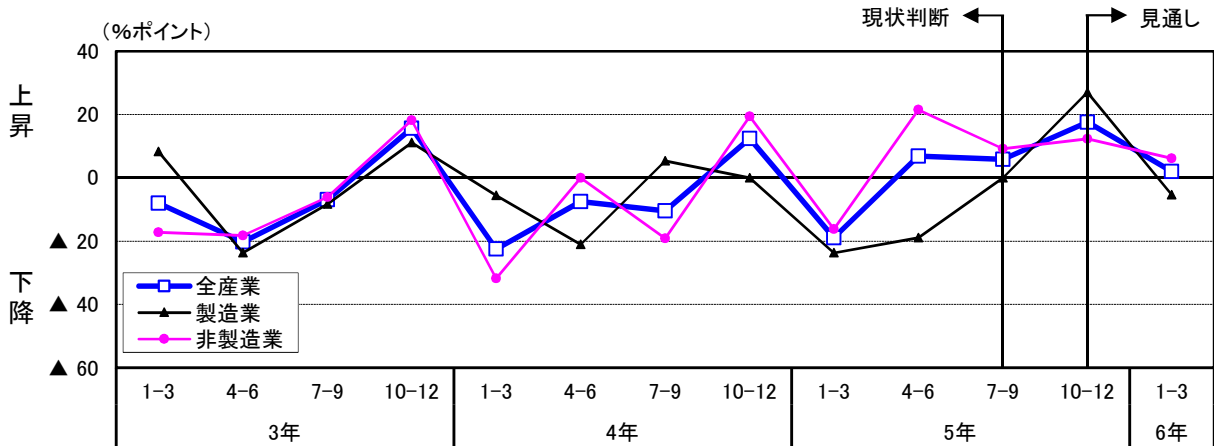
経常利益の前年度比増減率



※電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く。()書きは前回(5年4-6月期)調査結果
(資料出所: 松江財務事務所)

6. 企業の景況感 「上昇」超幅が縮小している

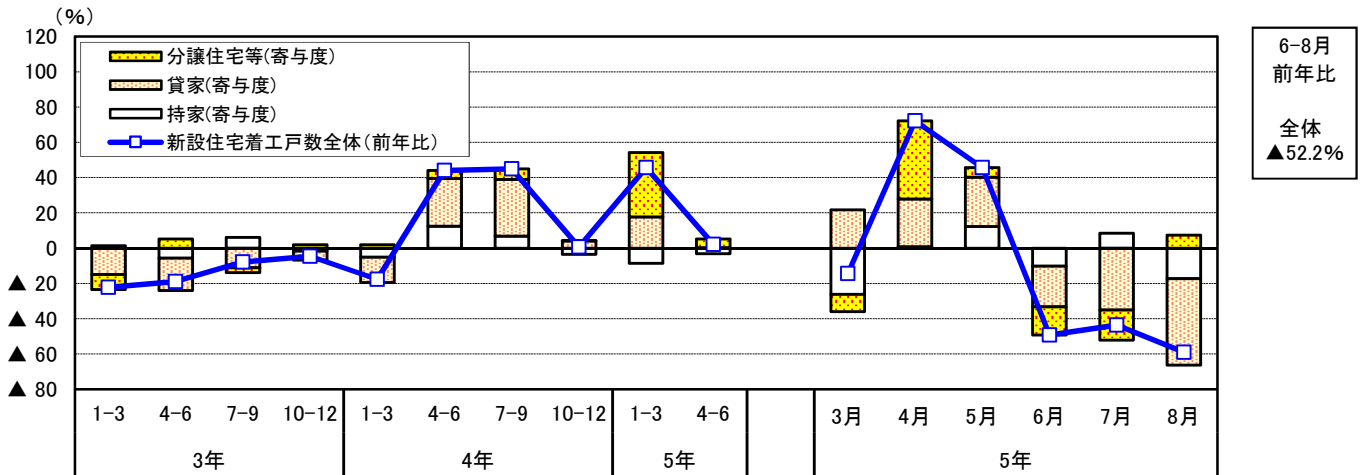
景況判断BSIの推移 (BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 松江財務事務所)

7. 住宅建設 前年を下回る

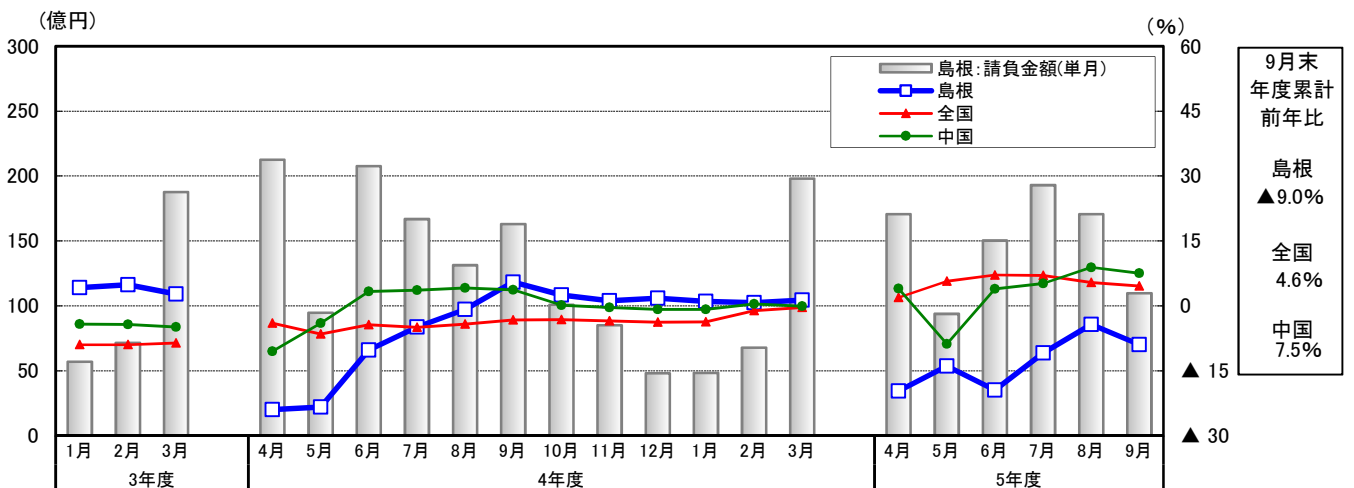
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 公共事業 前年度を下回る

前払金保証請負金額(年度累計額対前年度比)



(資料出所: 各建設業保証(株))